

(公印省略)

19福人研第11号
2019年4月25日

各 会 員 様

公益社団法人福岡県人権研究所
理 事 長 新 谷 恭 明

公益社団法人福岡県人権研究所

定時会員総会と記念講演のご案内

新緑の美しい季節となりました。会員の皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。
さて、本年度、定時会員総会を下記のとおり開催します。ご多用とは思いますが、ご出席をお願いします。
なお、定足数に充たない場合は総会が成立しませんので、お手数ですが、出席・欠席（委任状）のご連絡を必ず同封のハガキでご返信くださいますようお願いします。

記

1 日時

2019年5月26日（日）13時開会（受付12時30分～）

2 場所

福岡県人権啓発情報センター（ヒューマンアルカディア）視聴覚室
福岡県春日市原町3丁目1-7 クローバープラザ東棟7階
（JR鹿児島本線「春日駅」そば）電話 092-584-1271
（駐車場が有料になりました。）

- ※ 同封の出欠ハガキは、5月16日（木）までにご投函願います。
- ※ 総会参加者は同封の議案書をご持参ください。

* * *

○ 記念講演について （総会終了後、14時30分頃～16時頃予定）

演題 「SDGs（持続可能な開発目標）と人権～人権文化のまちづくり～」
講師 柳澤 規文（やなぎさわ のりふみ）さん
（北九州市保健福祉局人権推進センター所長）
[プロフィール、内容の概要等は裏面を参照してください。]

公益社団法人福岡県人権研究所
2019年度 定時会員総会後記念講演

演題 「SDGs (持続可能な開発目標)と人権～人権文化のまちづくり～」
講師 柳澤 規文 さん (北九州市保健福祉局人権推進センター所長)

2016(平成28)年4月『障害者差別解消法』、同6月『ヘイトスピーチ解消法』、同12月『部落差別解消推進法』が施行されました。

総会後記念講演は、一昨年は、内田博文さん(九州大学名誉教授)に「『部落差別の解消の推進に関する法律』の意義と課題」について提言をしていただきました。この講演は、ブックレット「菜の花」21 『部落差別解消推進法 よりよい活用のために』として発刊し、研修テキストとして活用されています。

昨年は、桧垣伸次さん(福岡大学法学部准教授)に「ヘイト・スピーチ規制と日本国憲法」と題し、欧米における判例・事例を踏まえながら日本の「ヘイトスピーチ解消法」についての提言をしていただきました。

今年度定時会員総会後記念講演は、柳澤規文さん(北九州市保健福祉局人権推進センター所長)にお願いしました。北九州市は、SDGs推進に向けた世界のモデル都市としてOECD(経済協力開発機構)に、アジア地域で初めて選定されています。柳澤さんには、SDGsを人権推進という視点からとらえ、その意義や教育・啓発の課題、今後の人権社会確立のため展望を提言していただきます。

<プロフィール>

1982(S57)年 北九州市役所入職。

総務局国体事務局、経済局輸入促進事業推進室、教育委員会事務局、小倉南区役所、行政委員会事務局などを経て、2017(H29)年度から現職。

日時 2019年5月26日(日) 総会終了後 14時30分～16時(予定)
場所 福岡県人権啓発情報センター (ヒューマンアルカディア) 視聴覚室

福岡県春日市原町3丁目1-7 クローバープラザ東棟7階
(JR鹿児島本線「春日駅」そば) 電話 092-584-1271
(駐車場が有料になりました。)

資料代 500円(会員は無料です)

<お問い合わせ>

公益社団法人福岡県人権研究所事務局

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 福岡県吉塚合同庁舎4階

電話: 092-645-0388 FAX: 092-645-0387

Email: info@f-jinken.com URL: <http://www.f-jinken.com/>

(手話通訳が必要な方は、5月16日(木)までに連絡いただくようお願いいたします。)

定時会員総会 次第

- 1 開会行事
 理事長挨拶
 来賓挨拶

- 2 議長選出
 書記の委嘱
 議事録署名人の選出

- 3 議案審議

第1号議案	2018年度	事業報告(案)	P.1
第2号議案	2018年度	貸借対照表(案)	P.9
		正味財産増減計算書(案)	P.10
		正味財産増減計算書内訳表(案)	P.12
		財産目録(案)	P.14
		監査報告	P.15
第3号議案	2019年度	事業計画(案)	P.16
第4号議案	2019年度	収支予算書(案)	P.20
		収支予算書内訳表(案)	P.22

- 4 議長解任

- 5 閉会行事
 諸連絡

記念講演

【演題】「SDGs（持続可能な開発目標）と人権～人権文化のまちづくり～」

【講師】柳澤 規文（やなぎさわ のりふみ）さん
北九州市保健福祉局人権推進センター所長

【内容】北九州市は、SDGs推進に向けた世界のモデル都市としてOECD（経済協力開発機構）に、アジア地域で初めて選定されています。
柳澤さんには、SDGsを人権推進という視点からとらえ、その意義や教育・啓発の課題について、今後の人権社会確立のための取組につながる展望を提言していただきます。

【プロフィール】

1982(S57)年 北九州市役所入職。

総務局国体事務局、経済局輸入促進事業推進室、教育委員会事務局、小倉南区役所、行政委員会事務局などを経て、2017(H29)年度から現職。

りべらしおん

「りべらしおん」は、フランス語で「解放」という意味です。

発行：公益社団法人 福岡県人権研究所

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 福岡県吉塚合同庁舎4階 TEL 092-645-0388

FAX 092-645-0387 e-mail:info@f-jinken.com URL:http://www.f-jinken.com/

「攻めの姿勢」を貫こう!

公益社団法人福岡県人権研究所理事長 新谷 恭明

昨年来、「攻めの姿勢」を掲げて活動していますが、まだ気持ちだけが逸っていて実態が追いついていない気がします。新年度を迎え、攻めの姿勢を具体化していきましょう。

まずは、出版物の充実と販促です。機関誌『リベラシオン』をもっと読みやすく、もっとニーズにかなったものにしていきます。『リベラシオン』は会員全員に隅から隅まで読んでいただけるような、毎号届くのを心待ちにするような、そういうものにしていくつもりです。

また、毎年ブックレットを発行してまいりましたが、いろいろなところで活用できる内容のものを企画していきます。昨年刊行した内田博文『部落差別解消推進法ーよりよい活用のためにー』は非常にニーズが高く早々と第2刷となりました。次のブックレットも期待してください。

次に、新たに会員が書いたものを出版したいというような場合にはこれを支援していきます。単なる自費出版ではなく、福岡県人権研究所(以下、本研究所)の販売ルートで広めていこうというものです。会員の方

々が今度は発信者としてもかかわってもらえるような制度ですので、出版を希望される方は本研究所にご相談ください。また、本研究所の刊行物をもっと気軽に購入できるようなシステムを近々導入する予定です。欲しいと思ったら、すぐ手に入る、そういう形で販売促進をはかっていきます。

そして、もっとも重要なのは組織の刷新です。本研究所は、福岡部落史研究会を前身としており、その歴史には先達の熱い思いが込められています。その熱誠に新しい世代の感覚と情熱を取り入れ機動的で風通しのよい組織へと改革していきます。

昨年からは会員も今までの会員を A 会員とし、機関誌の配布を受けない年会費 3,000 円の B 会員 (ブックレット「菜の花」年 1 冊、本研究所主催研修会参加費の減額など) を新たに設けて、広く会員を募ることにしました。また、企業にも団体会員として本研究所を支援していただくように働きかけをしています。

さらに、会員の皆様方が利用しやすく、活動しやすい本研究所にしていきます。会員の皆様方のご協力を切望するところです。

(公社) 福岡県人権研究所

**2019年度
定時会員総会
と記念講演**

▷日時 2019年5月26日(日) 13:00 開会 (受付12:30~)

▷日程

12:30 13:00 14:20 14:30 16:00 16:10

受付 | 定時会員総会 | 休憩 | 記念講演 | 諸連絡

▷会場 福岡県人権啓発情報センター (ヒューマン・アルカディア)
春日市原町3丁目1番7号クローバープラザ7階 (JR「春日駅」そば)

▷記念講演 演題「SDGs持続可能な開発目標と人権の課題～人権文化のまちづくり～」

講師 柳澤 規文 (やなぎさわ のりふみ) さん

(北九州市保健福祉局人権推進センター所長)

※委任状を出す方は、5月16日(木)までに同封のはがきに必要事項を記入して投函して下さい。

報告 2019年3月1日(金)～3月2日(土)

「三・一独立運動100周年 in ソウル」に参加して

会員：たかまつ みほこ

<朝鮮の三・一独立運動とは> 日本の植民地になった朝鮮(1910年「韓国併合」)では、民族自決の考え方に刺激を受けた人々が1919年3月1日、京城(現在のソウル)で独立宣言を行い、「独立万歳」とさげふ民衆運動が朝鮮各地に広がりました(三・一独立運動)。これに対して朝鮮総督府は、警察や軍隊を動員してようやくおさえました。この運動ののち、日本政府は、朝鮮を武力でおさえる政策を転換して、それまでの軍人による警察制度を廃止し、朝鮮の人々に集会や言論、出版における一定の自由を認めていきました。

(『社会科中学生の歴史』帝国書院より引用)

旅で出会った人たちは、温もり、勇気、元気をくれた。共に旅をし、語り、一人ひとりが歴史を創り、一人ひとりの人生を創っていることに気づかせてくれた柳井美枝さん(本研究所特命研究員)に心から感謝したい。

日本統治からの解放を願って、非暴力の独立運動が学生たちを中心に始まってから100年。光化門広場の集会には約1万人が集まった。家族連れも多く、大統領スピーチの後、4時間に及ぶ大行進が行われた。



(写真：ソウル市記念行事) 街中に「三・一独立宣言100周年」の文字があふれ、様々な関連企画が開催されていた。

かつて独立宣言が読み上げられたタプコル(パゴダ)公園には韓国の独立の歩みを表すアーチが設置され、16歳で独立運動に身を投じた柳寛順(ユグァンスン)の故郷までの距離120kmを歩くという人たちや、統一旗をフェイスペイントした若者たちなど様々な人たちが集まっていた。

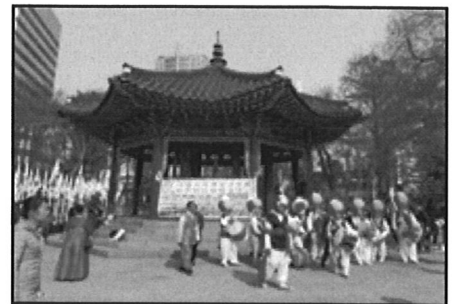
広場には、独立活動家の名前が刻まれた1万5千本のポール。花が結びつけられているものや、名前を探している様子の人…。

当時のソウルとピョンヤンの三・一独立運動の過程をたどる遺物や映像を見ていると、分断される前、一つの国だった時に民衆が独立・解放を求めている様子が浮かんでくるようだった。

2日めの夕方、柳寛順を題材にしたカンタータ(交声曲)をユースオーケストラと市合唱団が演奏したが、家族連れなどでほぼ満席、会場は一体化していた。

新たに地下鉄構内に独立宣言書や歴史の流れをまとめた映像が流れるパネル、独立活動家の顔写真が浮かび上がる柱がある休憩スペース等が常設されており、日常生活の中で歴史が受け継がれていると感じた。

タプコル公園で出会った日本に留学・就職をしていた人が「武力や非難しあ



うばかりでは、(写真：タプコル公園から行進へ)それは愚かな行為であり、友好にはつな

らない」と話し、「120 kmを一緒に歩けません、学んで帰ります」と言う私たちに、「楽しんでください」と言ってくれた。

「慰安婦」問題の展示で出会った「慰安婦」にとりくんでいる大学院生、アメリカの公文書館で4年間「慰安婦」調査を続けた人たち、北朝鮮在住の元「慰安婦」取材をしている在日のルポライター。誰もが

丁寧に日本語で、調査のこと、ハルモニのことを語ってくれた。自分の国の起こした史実を当事者の国の人に教えてもらう自分。

「歴史を鑑として韓国と日本が固く手を握る時、平和の時代がわれわれに近付くでしょう。」という大統領スピーチ(「聯合ニュース」-Yahoo ニュース3月1日より引用)を心に刻みたい。

2019年度研究プロジェクト決定

公益社団法人福岡県人権研究所

公募した2019年度研究プロジェクトに4件の応募がありました。2019年2月20日(水)の選考委員会において、以下のように選考され、2019年3月3日(日)の理事会で決定しました。4件とも2年目の継続研究です。

- ◇ グループ(代表) 森山沾一「嘉飯山地域水平社運動と部落実態についての研究
～全国水平社創立百周年に向けて～」
- ◇ 個人 関儀久「明治期における豊富・金平・松園三部落の生活史・教育史・運動史」
- ◇ グループ(代表) 藤川信樹「近世・近代の被差別部落史を史・資料をとおして研究する。～運動・教育の今日的課題(教訓)を明らかにする～」
- ◇ グループ(代表) 池間龍三「部落差別の本質にもとづいた人権教育内容の創造」

< 研 / 究 / 所 / の / 主 / 催 / 行 / 事 >

2019年度第1回啓発担当者のつどい

日 時：7月9日(火) 13:30～16:30
会 場：一般財団法人福岡県部落解放センター
内 容：「(仮) 部落差別解消推進法に係る
条例づくりに向けた課題」
講 師：調整中

2019年度第2回啓発担当者のつどい

日 時：9月
講 師：調整中
会 場：北九州市
共 催：北九州市人権フォーラム21

2019年度 啓発担当者のための人権講座

日 時：10月29日(火) 10:00～16:20
会 場：一般財団法人福岡県部落解放センター
内 容：「(仮)『国立市人権・平和条例』の
意義と市民の取組」
講 師：押田 五郎さん
(国立市人権市民アクション代表)
講演後、行政や企業の担当者によるシンポジウム

第15回筑前竹槍一揆ウォークin赤間

日 時：8月18日(日) 10:00～15:30
会 場：宗像市赤間地区コミュニティーセンター
内 容：筑前竹槍一揆史跡と赤間宿を巡る
講 師：石瀧豊美さん(本研究所理事) 他

2019年度史実と授業・啓発の結合をめざして

日 時：11月16日(土)
内 容：「(仮) 近現代史における
部落問題と授業づくり」
会 場：宗像市

詳細は配布する案内チラシをご参照ください。また、研究所ホームページにも掲載しています。

第30回 三・一文化祭 多文化交流マダン(広場)

～出会い・交流・共生～

会員：大塚正純(自主夜間学級福岡よみかき教室)

2019年3月24日(日)、福岡市立千代小学校体育館で「第30回三・一文化祭」(主催：三・一文化祭実行委員会)が行われました。



1990年に始まった「三・一文化祭」が、30周年を迎えました。朝鮮半島との関係が冷え込む日本社会にあって、共生する

社会を求め、多文化交流と社会的マイノリティーの人々との出会いの場を私たちに与え続けてくれたのが「三・一文化祭」です。実行委員長の金逸根(キム イルグン)さんが、文化祭の30年を振り返り、開会あいさつの中で話された「私たちの子どもたちは『三・一文化祭』の中で育った」という言葉に、その年月の長さと思いを思いました。

◇ ◇ ◇

今年、1919年の三・一独立運動から100年目。

三・一独立宣言は、「わたしたちは、わたしたちの国である朝鮮国が独立国であること、また朝鮮人が自由な民であることを宣言する。」に始まり、「人類が平等であることの大切さ」を説き、「世界の人びとが、正しいと考えていることに向けて世の中を変えようとしている動きをいっしょに進めるための訴えでもある。」と冒頭でうた

っています。弾圧を受けながらも、この運動には朝鮮全土で約200万の人々が参加し歴史を大きく動かした出来事です。

この日を記念し、その名を冠した今回の「三・一文化祭」は、半島の民俗遊び、サムルノリ大合奏、コリアンクイズ、のど自慢、仮面劇、参加者全員でのカンガンスルレの踊りと息をつく間もないほどの中身満載の5時間で、参加団体も韓国の水原・大邱、そして壱岐と大阪からと拡がりを感じさせるものでした。

◇ ◇ ◇

また、今回は敗戦直後の1945年9月17日に筑豊の真岡(しんおか)炭鉱(糸田町)で起こった事故に関わる出来事がスライドアピールとして紹介されました。「この事故では、日本人を含む計4人が亡くなり、そのうちの一人である朝鮮人少年の名前が長くわからず、慰霊碑には名不詳と刻まれていたのですが、その少年の名が姜相求(カン サング)であったことが判明(当時16歳)し、慰霊祭が行われた」と話をされる朴秀康(パク カンス)さん。

「一つの名前に、一つの命がある」という言葉に、植民地支配や戦争の中に埋もれてしまった歴史を知ること、踏まえること、そこには決して忘れてはならない大切な一つの命が関わっていることにあらためて気づく一日となったと思います。

<「三・一独立宣言文」の現代語訳は、『週刊金曜日1211号』より引用>

《満ちることは 湧かせること！》

～『森崎和江を読む』～

問題提起：うりう ひさこ（理事：そのだ ひさこ）

2019年度「ジェンダー部会」へのお誘い

< ジェンダー部会2019年度活動予定 >

- ① 森崎和江を読む：第1回 8/25（日）13:00（会場：ヒューマンアルカディア視聴覚室）
- ② 「長崎市内の遊郭」フィールドワーク（12/7（土）～12/8（日））

【 内 容 】

< 森崎和江さんの言葉より >

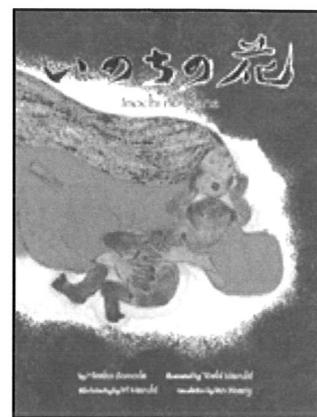
- ① 「わたしたちは女にかぶせられている呼び名を返上します。無名にかえりたいのです。母、妻、主婦、婦人、娘、処女・・・と」「『母』は水などと同じ質をもっているはず。それが何か意味ありげなものとして通用する。まるで道德のオバケみたいに」
（『無名通信』より）
- ② 「生むこと・生んだことを踏まえてはなす存在の不遜・・・」「生むことをはばまれて生きているたくさんの女たち—病気で孤立している人、男たちへの不信から婚姻へ入れぬ者、性を売りつづけねばならなかった人たち。差別意識から混血を拒否された女・・・」
（『第三の性』より）
- ③ 「なぜ、娼婦が混濁なのか。地獄なのか。生存のある形に対して放つキタナイということばほど、存在をまるごと拒否する手段はない。それは殺すに足りない存在に対して放たれる」「日本の娼婦性」
（『匪賊の笛』より）
- ④ 「性は一对の意識を生み出そうとして異性を呼ぶ声です。異性へのやさしさです」「性のやさしさを」
（『匪賊の笛』より）

<うりう ひさこ からのメッセージ>

絵本『いのちの花』（英語版）の出版を終え、数十年ぶりに和江さんの懐かしい言葉のしずくを拾う。どれも、ストン！ストン！と胸におちる。男と女（の関係）は酷い！もの心ついた頃からの、そんな貧相な私の（両）性認識を“どんでん返し”にしたのは二十代で出会った和江さんの言葉でした。

人にとって性（愛）とは何か・・・。“性の存在論”ともいうべき言葉の群れに出会った衝撃は今も痛く、熱く。

今、自分に残された“時”を見据えながら、今こそ和江さんを読み抜きたいと思う。自ら湧かせなければ、満ちることはない！どなたでも、一緒に「森崎和江」をモタモタ読んでみませんか！



会員のみなさんの参加をお待ちしています。案内については、ビラなどでお知らせします。

< 調査・研究・部会活動へ参加しませんか >

本研究所では、史資料収集・整理を行う特別プロジェクト「松本治一郎・井元麟之研究会」のほか、部落史研究部会、教育部会、ジェンダー部会、啓発部会、外国人問題部会、海外人権スタディツアー企画部会があります。どの研究会・部会も参加自由です。

研究会・部会の開催は、ビラ配布や研究所ホームページで案内しています。

【問合せ】公益社団法人福岡県人権研究所事務局：Tel（092）645-0388

＜報 告＞2019/3/30（土）

ウリ・サフェ第24回講演会

理事：塚本博和

2019年3月30日（土）福岡県教育会館で開催されたウリ・サフェ＜私たちの社会～「在日」の人権と生活を共に創造する会＞第24回講演会に参加しました。参加者は、44人でした。

講演の前に「1992年ワンダーランド九州『家族たちの強制連行』【ウリ・サフェ会長 鄭琪満（チョンギマン）を主にした強制連行された父と様々な家族の現在】」が上映されました。

続いて「日韓請求権協定と元徴用工問題 大法院判決」という講演がありました。

講師は、弁護士の山本晴太さんです。山本さんは、福岡県弁護士会所属（1992年弁護

士登録）。関釜裁判の他、浮島丸訴訟、光州千人訴訟などの戦後責任訴訟を担当された方です。

「韓国大法院（最高裁判所）が、新日鉄住金の上告を棄却して元徴用工への損害賠償を命じる判決を確定させた。これに対して、日本政府は、『国際法上あり得ない判断であり両国関係の法的基盤を根本から覆すものである』である」として「韓国政府に対して判決への『対処』を要求する」という現状である。このことは、「実は日韓請求権協定の締結以来『請求権協定では個人の請求権は消滅しない』と力説してきた日本政府の転換ではないか？」という問題提起がなされました。

私は、国家間の問題ではなく、私たち一人ひとりの問題として考え解決すべき課題であると思いました。

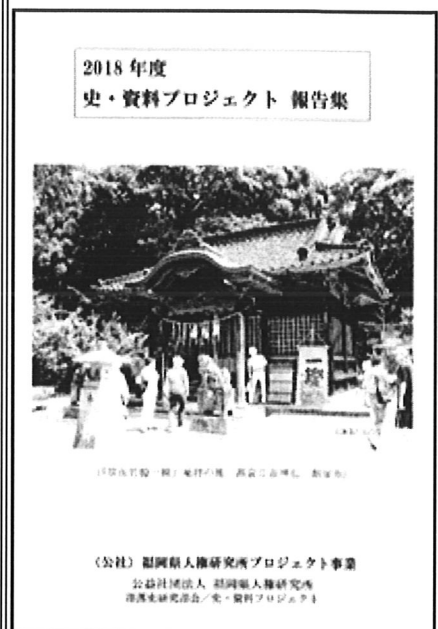
図 書 紹 介

『2018年度 史・資料プロジェクト報告集』

部落史研究部会／史・資料プロジェクトの2015年度、2016年度、2017年度に続く報告集です。今年度の研究テーマは以下の3点です。（「はじめに」より）

1. 1970年代からの解放運動を、現代の「部落差別解消推進法」（2016年）まで研究します。
また、その間の運動の大きな節目となった事柄を中心に、研究を進めます。
2. 年次的な研究とともに、これまでの研究によって明らかになったさまざまな課題について、課題別テーマも設定して研究します。
3. そのため県内の優れた研究者、教育や行政現場の実践者を毎回お招きしてお話をお聞きます。
（2018年度に開催した9回分を報告集としてまとめて編集されています。）

頒価：500円 申込は公益社団法人福岡県人権研究所まで



2019年度 公益社団法人福岡県人権研究所 年間計画案4.21現在

※敬称略、期日・内容等は変更することがあります。公益社団法人福岡県人権研究所URL <http://www.f-jinken.com/> を参照してください。

月	機関会議等/総務	事業 (1)調査・研究活動事業 (2)市民啓発事業 (3)その他	関連行事
4	・事務局長辞任交付式(2/大)・定期報告(12/金) ・編集会議(7/日)・第19回会長等会(15/日) ・第18回執行理事会・第18回理事会(21/日/春日市) ・総会の招集通知(議案書)提出(2/大)	・第1回教育部会(13/土) ・第108回熊本・井元研究会(17/水) ・第18回「人権教育内容の創造」プロジェクト(21/大) ・ニュースリリース(No.94)発行(25/水)	・福岡県障がい者連絡協議会総会(2/金/嘉麻市)
5	★定時社員総会及び記念講演 (26/日/春日市、福岡県人権啓発情報センター)	・第19回部落史研究部会兼史資料プロジェクト(11/土)・(第20回教育部会(11/土)) ・第19回啓発部会(18/土)・(第1029回熊本・井元研究会(22/水)) ・第20回「人権教育内容の創造」プロジェクト(28/大) ★総会後記念講演(26/日/14:30)「SDG4、持続可能な開発目標と人権の課題」 講師:柳澤規夫(元九州市保健福祉局人権推進センター 所長)	・人権社会確立第39回九州研究集会(14/大、15/水/大分県別府市) ・九州地区部落解放史研究連絡協議会(14/大/別府市) ・福岡県人権・同和教育研究協議会総会(17/金/新宮町)
6	・第19回役員選考委員会 ・編集会議(11/月) ・公益法人定期報告書類提出(30/日/期限)	『ワ・ワ・ワ・オン』No.174(夏号)特集「井元麟之介」発行(17/土) ・第20回部落史研究部会兼史資料プロジェクト(18/土) ・第20回教育部会(15/土)・(第1030回熊本・井元研究会(19/水)) ・第20回啓発部会(27/土)・(第20回「人権教育内容の創造」プロジェクト(28/大)) ・第1030回海外人権スタディツアー企画部会(未定)・ ・ニュースリリース(No.94)発行(25/水)	・部落解放同盟福岡市協議会定期総会(2/土/福岡市) ・全国部落史研究集会(22/土、23/日/大塚市) ・第49回部落解放・人権西日本夏期講座(26/水、27/木/春日市高松市)
7	・第20回執行理事会(28/日/研究所)	・第20回教育部会(6/土) ★第19回啓発担当者ワークショップ(5/大)「県立総合庁舎5階ポランティアセンター」 講演「部落差別解消推進法に基づく事例」(9/日)に向けた課題検討) 講師:朝内市町行政担当者等、詳細は別途お知らせ ・第20回部落史研究部会兼史資料プロジェクト(11/土) ・第104回熊本・井元研究会(17/水)・(第20回啓発部会(20/土)) ・第20回「人権教育内容の創造」プロジェクト(21/大)・(第21回外国人部会(21/土))	・部落解放同盟福岡県連合会定期総会(25/木/福岡市) ・全国人権・同和教育研究協議会「豊かな人権教育の創造」実践交流会(30/水/吉野市)
8	・決算見込額算定	・第20回海外人権スタディツアー企画部会(未定)・(第20回啓発部会(17/土)) ★第158回筑前竹穂一揆ワークショップ(18/日/宗像市)「筑前竹穂一揆史跡と本間宿を巡る」講師:石原貴美、赤田昭彦(筑前竹穂ワークショップ実行の会) ・第20回「人権教育内容の創造」プロジェクト(18/土) ・第20回教育部会(24/土)・(第21回センター部会(25/日)) ・ニュースリリース(No.95)発行(26/日)	・第60回福岡県人権・同和教育夏期講座(8/木/福岡市) ・第46回九州地区人権・同和教育夏期講座(18/日、19/日/熊本市) ・第50回部落解放・人権夏期講座/高野山夏期講座(21/金、22/土)
9	・編集会議 ・第20回執行理事会(29/日/研究所)	『ワ・ワ・ワ・オン』No.175(秋号)発行(17/日) ・第60回教育部会(17/土)・(第21回部落史研究部会兼史資料プロジェクト(14/土)) ・第105回熊本・井元研究会(18/水)・(第21回外国人部会(21/土)) ・第21回「人権教育内容の創造」プロジェクト(24/大) ★第21回啓発担当者ワークショップ「東北九州人権ワークショップ」(詳細は調整中)	・九州地区部落解放史研究集会(22/水、23/木/長崎市)
10	・第20回役員選考委員会 ・定期報告(8/大、上期) ・第20回会長等会(29/日/研究所、上期総括)	・第21回教育部会(5/土)・(センターワークショップ(21/日)福岡市) ・第21回部落史研究部会兼史資料プロジェクト(12/土) ・第106回熊本・井元研究会(18/水)・(ニュースリリース(No.96))25/金) ・第21回「人権教育内容の創造」プロジェクト(27/大)・(第68回啓発部会★に参加) ★「啓発担当者のための人権講座」(29/大/福岡県部落解放センター) 講演「『国立市人権・平和条例』の意義と市民の取組」 講師:押田五郎(東京都国立市人権市民アクト)、ハオルディアスカンション	・部落解放研究第39回全国集会/研究実践交流会(14/大、17/水/名古屋市) ・第57回福岡県人権・同和教育研究大会(19/土/飯塚市)
11	・第20回執行理事会(24/日/研究所)	★「歴史と授業・啓発の結合をめざして」(16/土)の記録市)内容、「近現代史」における部落問題と授業(2/9) (詳細は別途お知らせ) ・第68回部落史研究部会兼史資料プロジェクト★に参加) ・第21回教育部会★に参加)・(第21回啓発部会★に参加) ・第107回熊本・井元研究会(20/水)・(第21回「人権教育内容の創造」プロジェクト(26/大)) ・北九州ふたあいフェスタ(北九州市)	・人権資料・展示全国ネットワーク(30/土、12/17日/一宮県津市)
12	・年末調整等関係事務 ・第20回役員選考委員会 ・編集会議 ・次年度プロジェクト募集	『ワ・ワ・ワ・オン』No.176(冬号)発行(17/日) ・第21回教育部会(7/土)「特別支援センター」に参加(福岡市) ・第21回部落史研究部会兼史資料プロジェクト(17/土)・(第21回教育部会(14/土)) ・第21回センター部会(14/土、15/日/長崎市、フィールドワーク) ・第21回啓発部会(21/土)・(ニュースリリース(No.97))25/水)	・福岡県人権・同和教育夏期講座(25/水/朝倉市甘木)
1	・第21回役員選考委員会 ・第21回会長等会(20/日/研究所、次年度計画等) ・研究プロジェクト募集締切(31/金)	・第21回教育部会(11/土)・(第21回部落史研究部会兼史資料プロジェクト(11/土)) ・第108回熊本・井元研究会(15/水)・(第21回啓発部会(18/土)) ・第21回「人権教育内容の創造」プロジェクト(28/大)	
2	・補助金申請、事業報告・決算書、予算書等作成 ・研究プロジェクト選考委員会 ・第22回執行理事会(2/日/研究所) ・研究プロジェクト報告書提出締切(28/金)	・第129回教育部会(17/土)・(第22回部落史研究部会兼史資料プロジェクト(18/土)) ・第109回熊本・井元研究会(19/水)・(第22回センター部会(未定)) ・第110回「人権教育内容の創造」プロジェクト(25/大) ・ニュースリリース(No.98))25/水)	・福岡県人権・同和教育実践交流会(22/土/新宮町) ・第34回人権啓発研究集会(26/水、27/木/津浦橋)
3	・第22回執行理事会・第22回理事会(18日/春日市) ・編集会議	『ワ・ワ・ワ・オン』No.177(春号)発行(17/日)	

事／務／局／日／誌／か／ら

(2019年2月26日～4月16日)

2月

26 火 第34回事務局会

27 水 棚卸し

3月

1 金 松本事務所訪問 (松本治一郎残存資料の確認)

3 日 第6回執行理事会・第3回理事会(春日市)

12 火 第35回事務局会

16 土 第8回啓発部会 (福智町)

「井元麟之さんを語る」座談会 (福岡市)

19 火 第36回事務局会

24 日 *三・一文化祭 (福岡市)

25 月 小郡市子育て審議会 (小郡市) 福岡市企業同和問題推進協議会事務局局長来局

26 火 第37回事務局会

27 水 総会后記念講演打合せ (北九州市)

28 木 筑前竹槍一揆ウォーク打合せ(宗像市)

30 土 *ウリ・サフェ講演会 (福岡市)

4月

2 火 事務局員等辞令交付式、第1回事務局会

4 水 うきは市住民意識調査打合せ来局

5 木 「史実と授業・啓発の結合をめざして」現地打合せ (宗像市)

7 日 編集会議

9 火 第2回事務局会

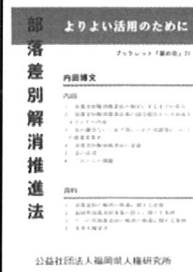
10 金 定期監査

13 土 第1回教育部会 (福岡市)

15 月 第1回部会長等会

16 火 第3回事務局会

※住民意識調査や実態調査等の受託事業に関する調整・事務、研究・研修や教育・啓発に関する相談業務、研修会の企画・運営、講師依頼への対応、補助金申請・報告や公益法人関係事務、関係機関・団体との連携・調整事務等については一部省略しています。



増刷しました！ ブックレット「菜の花」21 (A5判 88ページ)

内田博文著『部落差別解消推進法 よりよい活用のために』(500円+税) 大好評だった2017年度定時会員総会記念講演「『部落差別の解消の推進に関する法律』—意義とこれからの課題」を、新たな装いのブックレットにまとめました。行政、学校、企業、運動体等の教育・啓発の担当者必携！

読みやすい！ わかりやすい！ 使いやすい！ 研修テキストです！

人権社会確立第39回全九州研究集会

日時：5月14日(火)～15日(水)
会場：大分県別府市・ビーコンプラザ 他
参加費：4,000円(資料代も含む)
主催：「人権社会確立第39回全九州研究集会」実行委員会
特別講演：「人権と憲法」
谷口 真由美さん
(大阪大学非常勤講師)

第38回九州地区部落解放史研究集会

日時：8月22日(木)～8月23日(金)
会場：長崎市(長崎大学)
テーマ：「部落史をとらえなおす part2」
主催：九州地区部落解放史研究協議会
記念講演：「(仮)『原爆と沈黙』の制作にあたって」
講師：渡辺 孝さん
(NHK福岡放送局プロデューサー)